報告事項(2)

資料２

令和６年度
地域における公共交通に関する懇話会概要

1．開催概要

目的

地域の事情に応じた持続可能な交通手段を検討するため、地域住民代表や公共交通の利用者等との直接的コミュニケーションを取り、コミュニティバス「あいばす」を中心とした各地域における普段の生活移動の現状、地域住民のニーズの把握と今後の改善点についての意見交換を行う目的で実施。

開催日時		地域	参加人数
11/16(土)	09:00～10:00	谷山南部	3人
	10:30～11:30	谷山	11人
	13:15～14:15	小原	22人
	15:00～16:00	谷山北部	8人
11/30(土)	09:15～10:15	吉野	12人
	11:00～12:00	吉田	22人
	15:15～16:15	喜入	14人
12/7(土)	09:00～10:00	伊敷東部	9人
	11:00～12:00	伊敷西部	6人
	14:00～15:00	郡山	32人
	15:30～16:30	松元	24人
合計			163人

主な参加者

町内会長や地域コミュニティ協議会会長、「あいばす」利用者等

当日の様子

1．主な意見

《全体》

（現行のあいばす運行への意見及び見直しに関する意見）
・利用者が少ない（ほとんど利用がない）
・遠回りで目的地まで時間がかかる
・自宅から「あいばす」バス停が遠い
⇒〇利用状況等を踏まえると、車両の小型化やルートの短縮化、予約型（乗合タクシー等）などを検討すべきでは
〇特に、乗合タクシーのような予約制の導入に関する意見が多い（アンケートでは定時定路線希望の割合が半数以上であるが、懇話会では事前予約制を希望する意見が多い傾向あり）

（その他意見）
・免許返納後の交通手段に不安がある
・「あいばす」は高齢者向けのイメージが強いため、誰でも利用できるという周知広報が必要
・市電やJR、路線バスとの接続が良いと便利（時刻、便数等）

《谷山南部》
・「あいばす」は遠回りをするため、目的地まで時間がかかる
・誰でも「あいばす」を利用できるという周知広報が必要

《谷山》
・買い物や通院で利用したいが、帰りの時間が合わない
・「あいばす」は高齢者向けのイメージが強い

《小原》
・「あいばす」で買い物に行っても、バスのダイヤや荷物の関係で帰りがタクシーになることが多い
・「あいばす」が谷山電停まで接続できると、非常に便利

《谷山北部》
・自宅とバス停の距離が遠いため、ドアtoドアの要望が強い
・利用者の数に対して車両が大きいため、小型化できないか

《吉野》
・高齢者福祉センターの利用が多いが、その休館日（月）と「あいばす」の運行日が合っていない（日休み）
・必要なタイミングで利用できる予約型を導入できるといい

《吉田》
・地域として免許返納が進むため、「あいばす」等のニーズは増える
・車両の小型化や、乗合タクシーの導入ができるといい

《喜入》
・利用が多い場所が決まっている（駅や支所等）ため、予約型の方が適しているのではないか
・喜入駅のJRとの接続が良くなると便利

《伊敷東部》
・「あいばす」の利用状況等を考えると、車両を小型化するべきではないか
・市営バス（緑ヶ丘）との接続を充実させてほしい（時刻、便数等）

《伊敷西部》
・地域を走る「あいばす」を見ているとほとんど利用がないように感じるため、予約型の方が適しているのではないか
・「あいばす」の利用は高齢者がほとんどだが、バス停までが遠い

《郡山》
・山間部では予約型が有効ではないか（バス停と自宅との距離や、利用者が限られる点から）
・「あいばす」は早朝の方が需要があるため、運行時刻を全体的に前倒すことはできないか

《松元》
・利用の少ない地域は予約型を導入し、「あいばす」のルートを短くできると利便性が増すのではないか
・上伊集院駅や薩摩松元駅のJRとの接続を良くしてほしい

第１回　地域懇話会概要
（谷山南部・谷山・小原・谷山北部）

目的

地域の事情に応じた持続可能な交通手段を検討するため、地域住民代表や公共交通の利用者等との直接的コミュニケーションを取ることで、コミュニティバス「あいばす」を中心とした各地域における普段の生活移動の現状、地域住民のニーズの把握と今後の方針・方向性についての意見交換を図る。

時間	プログラム	実施内容
2分	開会あいさつ・本日の進め方	・開催目的・趣旨の説明
15分	鹿児島市各地域を中心とした地域と公共交通の現状	・議論の前提として、鹿児島市の交通の実態について紹介し、議論の深度化を図る
5分	【グループ別に座談会】自己紹介	・お名前、お住まいの地域 ・ご自身の地域におけるお立場（あれば）
25分	【グループ別に座談会】 移動実態等を踏まえたニーズ・改善点について	・移動に関するお困りの点やニーズについて ・使いやすい公共交通とは（定時定路線・予約制、希望する移動目的など）
10分	【グループ別に】結果の共有	・各グループの結果を発表し、参加者の共通認識とする
3分	閉会あいさつ	・次回以降のスケジュール ・閉会あいさつ

開催時間	地域	場所	参加人数(人)
09:00～10:00	谷山南部	鹿児島市谷山都市整備課　会議室	3人
10:30～11:30	谷山	鹿児島市谷山都市整備課　会議室	11人
13:15～14:15	小原	魚見町公民館	22人
15:00～16:00	谷山北部	知的障害者福祉センターふれあい館　会議室	9人

座談会テーマ

移動実態を踏まえたニーズ・改善点

グループでの意見

移動ニーズ・困りごと

○困りごと
- 平川古屋敷地域の乗合タクシーは同じ町内でも対象地域とそうでない地域があり、利用に不公平感がある
- 乗合タクシーは登録制でなく、誰でも利用できるようにしてほしい
- 野頭などの地域は小中学校の送迎が大変なため、通学に間に合うような便を設定できないか

○ニーズ
- 午前8時から10時で行われているグラウンドゴルフのついでにお出かけができるようなルート設定ができないか（10時過ぎの便で温泉に行けるなど）

○その他、地域の現状
- 車を運転する方が多い
- あいばすの乗車が少ない地域は乗合タクシーがいいのでは
- お達者クラブを町内公民館にて月1回開催

あいばすの改善点

○乗車
- 買い物帰りにあいばすに荷物をもって乗るのは大変
- あいばすは遠回りをするため、目的地まで時間がかかる

○停車地・バス停
- 自宅からバス停までが遠い
- 和田地域は細い道が多くあいばすの乗り入れが難しいという話を聞いたことがあるから、車両を小型化して細い道にも入れるようにしてほしい
- 七ツ島海宝館にもあいばすを乗り入れてもらえると買い物に便利

○イメージ・認知度
- 町内会に加入していない人にも利用方法が周知できると利用者が増えるのでは
- 子連れの方も不安なく乗れるような周知をしてほしい
- あいばすは高齢者向けイメージが強いから若い人など誰でも乗れるイメージづくりが必要

当日の様子

座談会テーマ

移動実態を踏まえたニーズ・改善点

A班

グループでの意見

移動ニーズ・困りごと

○困りごと
- デマンドタクシーは乗車時間が短いが予約の面倒さがある
- 「チョイソコかごしま」は敬老パスが使えず金銭面での課題がある

○ニーズ
- 鹿児島生協病院に行くため、あいばすを利用している人がいる
- あいばすは高齢女性の利用が多い
- 谷山から中央駅に行くためには、JRに乗り継いでいる
- 天文館に行くには、市バス・市電の乗継が安価

○その他、地域の現状
- 買い物等はタクシー利用や家族の送迎に頼る人が多い
- 国道225号のバスは、渋滞で遅延するため、時間の目途が立たない

あいばすの改善点

○乗車
- 買い物後の荷物を持っての移動が大変
- バスの車高が高い、ステップが低い車両が良い
- ベビーカーを畳まないと乗れないところが不便

○停車地・バス停
- 自宅からバス停が遠い
- 長時間の乗車は体力的に大変

○イメージ・認知度
- 地域であいばすの話題にならない、認知度が低い
- あいばすは高齢者のためのバスという固定観念があった
- 若い人のあいばす利用促進の視点が必要
- あいばすは高齢者向けのイメージが強く、小さな子供やベビーカーを乗せてもいいのかという不安がある

当日の様子

A班担当：許斐

座談会テーマ

移動実態を踏まえたニーズ・改善点

B班

グループでの意見

移動ニーズ・困りごと

○困りごと
- 錦江台の市営住宅は高齢者が多いが路線バスが減便された
- 中山線（鹿児島交通）の便数が少ない
- 路線バス減便の影響が大きく、生活が不便になっている

○ニーズ
- 買い物等、外出は明るいうちに済ませて、15時以降には家にいたい
- 朝、夕にバスの便の時間が合わず、慈眼寺駅→大久保下を徒歩通勤してる人達がいる
- 中心部に行く際は谷山電停を利用し、帰りは電停からバスを利用する

○その他、地域の現状
- あいばすの時刻表を持っていない
- チョイソコは利用登録が必要で少し手間だが、とても便利
- 錦江台では年1回スマホ教室が開催されており、そこでチョイソコかごしまの登録会もしたら、利用者が増えるのでは

あいばすの改善点

○乗車
- 買い物や通院等の予定とバスの時間が合わない
- 乗合タクシーについて、予約が必要な現在の形は時代にあっていない
- 路線バスと比べ、あいばすは乗車時間が長い

○停車地・バス停
- バス停と自宅との距離が遠い

○イメージ・認知度
- 高齢者が乗るイメージが強く、若い世代はあいばすが利用できると思っていない
- 社協の集まり等であいばすの利用について周知の必要がある

当日の様子

座談会テーマ

移動実態を踏まえたニーズ・改善点

A班

グループでの意見

移動ニーズ・困りごと

○困りごと
- チョイソコは事前に予約が必要な点に手間を感じる

○ニーズ
- 荷物が重く大変なので、買い物の帰りだけでもフリー降車にしてもらえないか（運転手からも家の前で停まってあげたいと言われたことがある）
- 近い将来あいばすを使い始める予定
- 学校の先生が通勤であいばすを利用している
- 時々利用して町内をあいばすで見て周るのは楽しい

○その他、地域の現状
- 買い物帰りはタクシーを利用することが多い
- あいばすの運行時間に合わせて出かけている
- 小原地域は坂が多く、高齢者も多い

あいばすの改善点

○乗車
- 運行日が利用したい曜日と合わない
- 運行ルートの道が狭い

○停車地・バス停
- 渋滞などでダイヤが乱れるため、電車からの乗り換えが難しい
- 桜ヶ丘五丁目の郵便局からバス停が遠い
- 大学病院の歯学部前で折り返すルートになっているが、大学病院前まで行ってほしい（谷山北部ルートは大学病院前まで行く）

当日の様子

A班担当：許斐

座談会テーマ

移動実態を踏まえたニーズ・改善点

B班

グループでの意見

移動ニーズ・困りごと

○困りごと
- タクシーがなかなかつかまらない
- 免許返納をしなければよかったと後悔している（自分の都合で移動できない）

○ニーズ
- あいばすやデマンド型についても乗り方を勉強する必要性を感じている
- デマンドは予約方法をしっかり教えてほしい
- 通院にあいばすを利用している
- 市電との乗り継ぎが便利（笹貫電停）
- 11月から車に乗れなくなるのであいばすを利用したい
- 免許返納後はあいばすを必ず利用する

○その他、地域の現状
- 食料品は宅配サービス（生協）も活用して調達している
- 買い物はAコープ（桜ヶ丘店）に行くことが多い
- 自分の生活をあいばすの運行日に合わせている

あいばすの改善点

○乗車
- 運行日数を増やしてほしい
- ルートが長く、乗車時間が長い、利用されていないバス停も通る
  （目的地まで時間がかかる）
- ルートが広い（なりざわ前まで行く点など）

○停車地・バス停
- 笹貫電停より谷山と宇宿の電停に行きたい
- 谷山電停まで行くと、イオン、谷山駅にも行ける
- 病院は谷山付近に行く人が多い

○イメージ・認知度
- あいばすの必要性は感じるが便が少ないと聞く
- 地域であいばすを利用することが大切だと感じる

当日の様子

座談会テーマ

移動実態を踏まえたニーズ・改善点

C班

グループでの意見

移動ニーズ・困りごと

○困りごと
- 買い物等に行く際、行きのバスはあるが帰りのバスがない（路線バス）
- 買い物等にあいばすで行っても、バスの時間が悪く、帰りがタクシーになる（タクシーもなかなかつかまらない）
- 桜ヶ丘から宇宿駅へ行く循環バスがあるが、小原地区や魚見一区の住民は使えないので、あいばすのルートを見直してほしい
- 小原地区は坂が多い
- 高齢者はスマートフォンを使うことが難しく、デマンド型は予約をすることがハードルとなる

○ニーズ
- 免許返納に向けて公共交通があると良い
- あいばすをチョイソコや路線バスと組み合わせて何とか存続してほしい

○その他、地域の現状
- 運転手が親切で良い
- あいばすの大まかなルートは利用者に認知されている
- 細かく地域に行き届く公共交通であってほしい

あいばすの改善点

○乗車
- ルートと曜日が決まっていて、使いづらい
- 市電や市バスからの乗り継ぎ時間が分からないため、その点が分かりやすいように示してもらえないだろうか
- バスが狭く荷物を持っていると乗るのが大変
- バスの時間が分からない
- 使いたい時間にバスがない（通院・買い物の帰り）

○停車地・バス停
- 宇宿駅まで行けるルートが欲しい
- 東開町のイオンまで行けると良い
- 上一区にバス停が1つしかない

当日の様子

座談会テーマ

移動実態を踏まえたニーズ・改善点

A班

グループでの意見

移動ニーズ・困りごと

○困りごと
- AIオンデマンド交通について、便利だとは思うが、高齢者のスマホの操作はハードルが高い
- 柊木山からふれあい館まで、車だと10分で行けるのに、あいばすだと60分かかる
- 山形屋ストア（宮川）がなくなってしまう
- 竹下三文字の始発便は小学生の通学を想定しているのかもしれないが、それにしては少し時間が早い

○ニーズ
- 広木駅からは中央駅や天文館に向かう

○その他、地域の現状
- 配食サービスを受けている世帯もある
- 買い物は山形屋ストア（宮川）と山形屋ショッピングプラザ（皇徳寺）をよく利用する

あいばすの改善点

○乗車
- あいばすはルートが長く遠回りするので、目的地まで時間がかかる
- 複数の不便地を1便で周らずに、ルートを分割し、1不便地→目的地の形にしてほしい

○停車地・バス停
- 希望ヶ丘からふれあいスポーツランドへの本数が少ない

当日の様子

座談会テーマ

移動実態を踏まえたニーズ・改善点

B班

グループでの意見

移動ニーズ・困りごと

○困りごと
- 宮川の山形屋ストアがなくなり不便になる
- 要介護３はあいばすに乗るのが難しいため、タクシーのほうが利用しやすい
- 始発便について、渋滞があると宮川小の登校時間に間に合わず、結局親の送迎となっている
- 荷物がある時に便利なように、星ヶ峯のタイヨーにあいばすが乗り入れてほしい（松元のタイヨーは乗り入れている）
- 星ヶ峯のタイヨーに朝行くと、帰りの便がない
- 行く病院もそれぞれであるため、あいばすだけで通院はまかなえない

○ニーズ
- 墓参り時期に広木駅から星ヶ峯霊園へのシャトルバスが欲しい
- 広木駅や谷山電停などへのシャトルバスがあればよい

○その他、地域の現状
- 三重野も昔はあいばす利用者がいた
- 近所に声かけして一緒に車で送迎をした経験がある
- 中山間地と市街地ではバスの本数に対する感覚等意見差がある（そこまで密に走らせる必要はないのでは）
- 星ヶ峯タイヨーからタクシー配車依頼をすると到着まで20分ほどかかる

あいばすの改善点

○乗車
- ルートが長大で、乗車時間が長すぎる
- 買い物で使うにしても帰りの時間が合わない
- 自宅からバス停までが遠く、ドアtoドアの要望が強い
- 利用者数に対し車両が大きいため、自家用車サイズでのライドシェアでまかなえないか
- 朝の渋滞で広木駅のJRの時刻に間に合わない

○停車地・バス停
- あいばすのバス停が星ヶ峯のタイヨーから遠い
- 広木駅に到着する時間がニーズに合っていない
- 広木駅→星ヶ峯霊園のルートが欲しい
- 星ヶ峯のタイヨーへのあいばす乗り入れと、ちょうどいい時間の帰りの便を設定できれば利便性が向上する

当日の様子

B班担当：内村

第１回　地域懇話会概要
（吉野・吉田・郡山）

目的

地域の事情に応じた持続可能な交通手段を検討するため、地域住民代表や公共交通の利用者等との直接的コミュニケーションを取ることで、コミュニティバス「あいばす」を中心とした各地域における普段の生活移動の現状、地域住民のニーズの把握と今後の方針・方向性についての意見交換を図る。

時間	プログラム	実施内容
2分	開会あいさつ・本日の進め方	・開催目的・趣旨の説明
15分	鹿児島市各地域を中心とした地域と公共交通の現状	・議論の前提として、鹿児島市の交通の実態について紹介し、議論の深度化を図る
5分	【グループ別に座談会】自己紹介	・お名前、お住まいの地域 ・ご自身の地域におけるお立場（あれば）
25分	【グループ別に座談会】 移動実態等を踏まえたニーズ・改善点について	・移動に関するお困りの点やニーズについて ・使いやすい公共交通とは（定時定路線・予約制、希望する移動目的など）
10分	【グループ別に】結果の共有	・各グループの結果を発表し、参加者の共通認識とする
3分	閉会あいさつ	・次回以降のスケジュール ・閉会あいさつ

開催時間	地域	場所	参加人数(人)
09:15～10:15	吉野	鹿児島市吉野公民館　会議室	12人
11:00～12:00	吉田	鹿児島市吉田公民館　ホール	22人
15:15～16:15	喜入	鹿児島市喜入公民館　研修室	14人

座談会テーマ

移動実態を踏まえたニーズ・改善点

A班

グループでの意見

移動ニーズ・困りごと

○困りごと
- 幹線（鹿児島吉田線）周辺以外の住民の移動確保が難しい
- 坂之上付近は路線バスがなくなったが、復活してもらわないと困る

○ニーズ
- 減便や路線の廃止が進むなら、タクシー補助があっても良い
- もう少し年齢を重ねて免許を返納したら、あいばすを利用する予定(71歳)
- 定時定路線ではなくデマンド型がいいのではないか
- 幹線道路の商業施設、福祉センターの利用のためあいばすを使っている
- 中別府団地まで路線バスを運行してほしい（吉野のゴルフ場のあたりまでしかバスが通っていない）
- あいばすを頻繁に利用するわけではないが、減便等されていざという時の交通手段がないのは不安

○その他、地域の現状
- タクシーは幹線周辺は10分程度でつかまるが、幹線から遠ざかるとなかなかつかまらない
- 免許返納を子から促される
- 上之原地域から中別府団地のバス停まで孫を送迎しているため免許が必要（あいばすの朝の便は通学の時間には合わない）
- 地域(校区)主体でコミュニティ交通もありえる（あいばすはルートが長いため、校区ごとに車両を持ち、細かく動けると便利）
- デマンド型の利用料は、ワンコイン(500円)程度であれば許容できる

あいばすの改善点

○乗車
- あいばすはルートが長く遠回りをする、路線バス等との接続が悪い
- あいばすは乗車人数が少ない
- あいばすの時間が合わず用事があるときに使えない
- 高齢者福祉センターの休館日(月)と運行日があっていない(日休み)
  →選挙も日曜に行われるし、需要があるのではないか
- 実方・菖蒲谷ルートの朝の便の利用者が多いのは、グランドゴルフに行く人が利用しているからであり、行き帰りともにもう少し便が多いと助かる
- デマンド型のように必要な時に必要な時間で利用できる手段が必要

○イメージ・認知度
- 高齢者をターゲットにするなら高齢者の目的・時間に合わせてほしい（午前中の通院など）
- 定時定路線は、その時間にバス停に行けばいいという安心感がある
- 利用状況等を考えると、あいばすを今後今の形のまま維持するのは不可能ではないか
- あいばすの走っている様子を見ていると、車両はもっと小さくていいのではないかと思う（ハイエース等）

当日の様子

座談会テーマ

移動実態を踏まえたニーズ・改善点

B班

グループでの意見

移動ニーズ・困りごと

○困りごと
- タクシーも人手不足で事前に予約しなければ車庫にもおらず使えないため不便（幹線から離れた地域）

○ニーズ
- 実方は400世帯あるが4割が75歳以上で高齢者の免許返納で今後あいばすの利用者が増えるのではないか

○その他、地域の現状
- あいばすの利用者は6名中2名(グループ内)
- 実方のあいばす利用者が少ないのは高齢者センターの温泉が有料になって温泉利用者が減ったことが一因である
- 上花棚は路線バスが走っているため利用している
- 寺山の世界遺産（寺山炭窯跡）付近にバス停があるといい
- 人によってあいばすの利用目的が様々であるため、希望するルートが異なる
- 無線前で乗り換えて市街地へ行っている（乗り継ぎはしやすい）

あいばすの改善点

○乗車
- あいばすはバス停と自宅やお店との距離が遠く、荷物を持って乗るのは大変
- あいばすは遠回りをするため、目的地まで時間がかかる
- あいばすの日曜の便が欲しい（日曜はイベント等も多く、朝夕1便ずつでも助かる）
- 学生の通学にちょうどいい朝夕の時間帯のあいばすがなく親の送迎が必要（特に部活動生は帰りは19時頃になり利用できない）

○停車地・バス停
- あいばすのバス停は自宅から遠い
- 上之原地域から路線バスのバス停が遠く、そのバス停まで高校生の送迎をしている
  →朝夕一便だけでも上之原バス停を通る便を復活させてほしい（路線バス）
- 地域の特性上、道が狭くUターンが出来ないからという理由でバス停を設置してもらえないケースがあった

当日の様子

座談会テーマ

移動実態を踏まえたニーズ・改善点

A班

グループでの意見

移動ニーズ・困りごと

○ニーズ
- 昔はあいばすを温泉に行くために使っていたが、最近は温泉に行く機会がなくなり、あいばす利用も減った
- 最低限週に一度買い物に行ければよい
- 吉野のニシムタ、吉田のタイヨー、焙良のイオンへの移動ニーズがある
- 永盛温泉前にはあまり行かなくなった（温泉の老朽化が進んでいる）→一方で渓谷苑前に行く人が多い（温泉利用のため）

○その他、地域の現状
- 昔あいばすを利用されていた方が亡くなった等で利用者が減少している
- 地域内の様子を見ていると、この先数年以内の免許返納が進みそう
- 昔は地域の支えあいで乗り合わせて買い物に行くこともあったが、安全面等が気になり、少なくなってきている
- タクシー利用はそれなりに多いが、吉野から呼ぶことになるので到着まで時間がかかる
- 中原公民館前は地域の方の高齢化により今後利用者の増加が見込まれる(週1回の買い物等)

あいばすの改善点

○乗車
- あいばすが走らない日曜だけでも、乗合タクシーにしてはどうか
- 利用者が少ない場所は予約型にしてはどうか
- あいばすは吉田のAコープまで行くには遠回り
- あいばすは自宅とバス停の距離が遠いため、フリー乗降にすると使いやすくなる
- 特に吉田の北部の方は焙良方面への移動の需要も多いから、あいばすを焙良市と共同運行にしてはどうか
- 週1回の買い物は予約制でもまかなえるのではないか
- あいばすは遠回りをするため、時間に余裕がないと使えない

○停車地・バス停
- 二本松と本吉田間はかなり距離があるがバス停がない
- 前宗のバス停と集落の位置がずれている
- あいばすはバス停同士の距離が遠い

○イメージ・認知度
- 回覧板よりも防災無線のほうが情報の周知には効果的である（あいばすの利用方法等の周知に活用してはどうか）
- あいばすは敬老パスがあれば安く乗れるが、そもそも敬老パスなどの制度を知らない人が多い
- あいばすの利用方法の周知が必要（定期的に公民館等で開催されるサロンにて）

当日の様子

A班担当：許斐

座談会テーマ

移動実態を踏まえたニーズ・改善点

B班

グループでの意見

移動ニーズ・困りごと

○困りごと
- 本城地域では路線バスが減少している
- 運行ルート等について、効率化のみを重視されると郊外は立ち行かない
- 路線バス等の廃止が進み、高校生の通学が難しいとなると、地域から出ていく人が増えてますます過疎化が進む

○ニーズ
- 高齢者、子供の足を確保してほしい

○その他、地域の現状
- 自家用車があればあいばすを利用することはない
- 吉田地域は北側と南側で生活圏が違う→北側は吉野地域の中心部まで行かない（姶良方面に行く）
- 吉田から吉野まで行きはバス、帰りはタクシーを使うと合計3000円かかる
- 他の交通手段への乗り継ぎ場所は、北側は重富（JR）、南側は吉野（バス）である。→学生の通学の場合はJR重富駅や吉野のバス停まで親が車で送迎している

あいばすの改善点

○乗車
- あいばすは利用者が少ないため、乗合タクシーの導入や車両の小型化で費用削減になるのでは
- あいばすは現在のように何便も必要ない→予約制で良い
- 買い物難民や子供の通学時間に配慮したダイヤにしてほしい
- あいばすと路線バスの接続をよくするなど、バス会社等との連携をしたうえで地域の公共交通を考えてほしい
- 乗合タクシーは停車地が多くあいばすより便利
- ライドシェア等の導入を含め、法の範囲内で柔軟に公共交通を考えることが必要

○停車地・バス停
- 自宅からあいばすのバス停が遠い
- 幹線交通（JRや路線バス）との接続改善をしてほしい

○イメージ・認知度
- あいばすに乗っている人を見たことがない（マイカー所有者が多い）
- あいばすは必要だと思うが乗ってみたいと思わない
- あいばすの利用者を増やすためには、使う人が安心して利用できるような周知が必要
- あいばすを使っている人に印象・意見を聞く必要がある

当日の様子

座談会テーマ

移動実態を踏まえたニーズ・改善点

C班

グループでの意見

移動ニーズ・困りごと

○困りごと
- 夫婦揃って車の免許がないと非常に不便
- 吉田地域は路線バスの減便で不便になった

○ニーズ
- 吉野のニシムタや姶良のイオンに買い物に行きたい(あいばすを利用できると良い)

○その他、地域の現状
- あいばすのバス停の位置に問題は感じていない
- 吉田の北側地域の住民は、病院や買い物は姶良方面まで行く
- 地域内で乗り合わせによる送り迎え支援はある
- あいばすの時刻に合わせて買い物などの行動をしている

あいばすの改善点

○乗車
- あいばすの便数が少ない
- あいばすは遠回りをするため、行きたいところにすぐにいける乗合タクシーが便利
- 予約制を導入するのであれば、予約方法は電話が良い
- 吉田福祉センターに午前10時頃に行ける便が欲しい
- いろいろなところを回るので目的地までの乗車時間が長い
- 乗合タクシーの導入をぜひ検討してほしい

○停車地・バス停
- あいばすを利用して牟礼岡から吉田支所に行きにくい

○イメージ・認知度
- 町内会で全く話題にならない
  （利用促進の周知広報が必要なのではないか）

当日の様子

座談会テーマ

移動実態を踏まえたニーズ・改善点

A班

グループでの意見

移動ニーズ・困りごと

○困りごと
- 将来的に高齢になった時に、自宅から最寄りのバス停まで歩けるか不安

○その他、地域の現状
- 喜入の社協では、交通関係のサポートは現状行っていない
- 多くの人は携帯電話を持っているので、デマンド型の電話予約のハードルは高くない
- あいばすの利用目的としては、買い物と温泉が中心である

あいばすの改善点

○乗車
- 時々あいばす車両に、ドアが開かないなど不具合がある
- 決まった人、決まったところ（駅や支所、スーパーなど）でしか利用がないため、乗合タクシーの方が利用者のニーズに合うのではないか
- 自宅からバス停までの距離が遠いため、乗降場所をフリーにしてはどうか（特に買い物の帰りなど、荷物があるのでフリーだとありがたい）
- 買い物の際に1時間後くらいに帰りの便があってちょうどよい
（一方、喜入のタイヨーに買物に行くと帰りまで4時間ほど待たないといけないという意見もあり、地域により大きな差がある）
- 将来免許証を手放すときのことを考えると、目的地に最短で行けたほうが良い（デマンド型の方がいい）
- あいばすは利用者や利用場所が固定されているため、定時定路線とデマンドの組み合わせはできないか
- あいばすはルートが長く遠回りをする部分が難点

○停車地・バス停
- 野元や仮屋崎であいばすを利用する人を見ない

○イメージ・認知度
- 利用者が固定されている
- あいばすは高齢者向けのイメージが強く、誰でも利用できることを知らない人もいるため、気軽に利用できるよう(将来を見据えた)広報をすべき
- あいばす存続のためには自分たち住民も積極的に使うことが大事
- いざ高齢となりあいばすを利用するときのために、動ける今のうちにお試しで乗っておくことが重要

当日の様子

A班担当：内村

座談会テーマ

移動実態を踏まえたニーズ・改善点

B班

グループでの意見

移動ニーズ・困りごと

○困りごと
- 自宅からバス停までの距離が遠くタクシーを利用している
- 子育て中の家庭が車を一台しか所有していない場合が多いため、あいばすを利用できるといいのではないか

○ニーズ
- 喜入駅に行けるルートが多いと良い
- 大正橋前より先の香梅ヶ渕は、夏場に中高生の利用が見込めるのではないか
- あいばすは買い物よりも通院利用が多い
- JR喜入駅を利用する人が使いやすいようなルート設定や時間設定があいばすにも必要

○その他、地域の現状
- 瀬々串の乗合タクシーは利用者が多い
- 地域内での移動の支えあいは運転時の安全面で不安があり、常態化していない
- 瀬々串コミュニティ協議会では地域で送迎ができる人がいる
- 避難所が遠いため車は必須
- 生見地域は、買い物は喜入方面か指宿方面に行く(車利用が多い)
- 喜入地域のあいばすは細かく地域に行き届いており、バス停位置やルートには問題ない
- 中名、喜入駅周辺は若い人が増えてきている

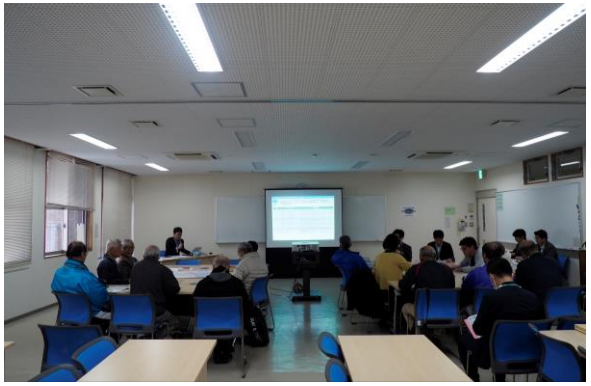
あいばすの改善点

○乗車
- あいばすを廃止して乗合タクシーにできないのか
- あいばす車両の小型化やオンデマンド化しても良いのではないか
- あいばすとJRのとの接続が悪いため考慮してほしい
- あいばすのルートが分かりにくく、時刻表のMAPも現実の地図に比べどこを通るのかなど分かりにくい
- あいばすのルートを延伸してほしい(新田の先)
- あいばすはベビーカーを乗せにくい
- 買い物は生協などである程度まかなえているため、あいばすは通院などの利用目的に絞って運用するのはどうか
- フリー乗降が出来ると良い

○停車地・バス停
- 自宅からバス停が遠い
- JR喜入駅周辺であいばすに乗る人は喜入駅に行けるかわかりにくい状態(喜入駅を一度通過した後は戻ることが出来ない)→喜入駅周辺を基点に循環してほしい
- JR喜入駅にはロータリーがない

○イメージ・認知度
- あいばすはルートが長いことなどから、不便というイメージがある
- 曜日と行き帰りでの時間が合わずあいばすを利用できない

当日の様子



第１回　地域懇話会概要
（伊敷東部・伊敷西部・郡山・松元）

目的

地域の事情に応じた持続可能な交通手段を検討するため、地域住民代表や公共交通の利用者等との直接的コミュニケーションを取ることで、コミュニティバス「あいばす」を中心とした各地域における普段の生活移動の現状、地域住民のニーズの把握と今後の方針・方向性についての意見交換を図る。

時間	プログラム	実施内容
2分	開会あいさつ・本日の進め方	・開催目的・趣旨の説明
15分	鹿児島市各地域を中心とした地域と公共交通の現状	・議論の前提として、鹿児島市の交通の実態について紹介し、議論の深度化を図る
5分	【グループ別に座談会】自己紹介	・お名前、お住まいの地域 ・ご自身の地域におけるお立場（あれば）
25分	【グループ別に座談会】 移動実態等を踏まえたニーズ・改善点について	・移動に関するお困りの点やニーズについて ・使いやすい公共交通とは（定時定路線・予約制、希望する移動目的など）
10分	【グループ別に】結果の共有	・各グループの結果を発表し、参加者の共通認識とする
3分	閉会あいさつ	・次回以降のスケジュール ・閉会あいさつ

開催時間	地域	場所	参加人数(人)
09:00～10:00	伊敷東部	鹿児島市伊敷公民館　第１会議室	9人
11:00～12:00	伊敷西部	鹿児島市伊敷公民館　第１会議室	6人
14:00～15:00	郡山	鹿児島市郡山公民館　研修室	32人
15:30～16:30	松元	鹿児島市松本公民館　研修室	24人

座談会テーマ

移動実態を踏まえたニーズ・改善点

A班

グループでの意見

移動ニーズ・困りごと

○困りごと
- 緑ヶ丘北までしか路線バスが行かない（その先を歩く人が多い）
- 自分が車を運転しなくなったときの移動手段が不安
- 夜遅い便がどんどん無くなっており、歩いて帰宅する人が増えているが、特に女性は夜道が危ない（緑ヶ丘から丸岡の方面）

○ニーズ
- 社協や社会福祉法人の協力（車両や運転者）をもらって、ライドシェアを活用できないか
- タイヨー花棚店など、吉野方面に買い物等行く人も意外といる（あいばす同士の接続ができないか）

○その他、地域の現状
- マイナンバーカードにあいばすのプリペイド機能をいれて、利用したら特典があるような仕組みを導入したらどうか

当日の様子

あいばすの改善点

○乗車
- 車両を小型化すべきではないか（ハイエースで十分）
- 吉野地域への路線があっても良いと思う
- あいばすの利用の仕方やルートなどわからない部分が多い
- スーパーの売り出し日にはあいばすの便が増えるなど工夫ができないか
- 施設や幼稚園の送迎バスの車両や運転者を利用できないか（落穂会やはなぶさ幼稚園等）
- 車両を目立つ色にしてみてはどうか（赤など）

○停車地・バス停
- 市交通政策課がリードして、福祉関係や商工関係の部署、地域の社会福祉施設等との連携をし、地域の交通に関する協議会を設立すべき（地域主導は難しい）
- 乗り継ぎ環境（バス停の上屋、ベンチ）が整っていない
- 地域の方の話を聞いていると、バス停の場所に関する要望が多い（自宅から遠い等）
- 高齢者はバス停まで行くのが大変であるから、バス停を増やしたり、フリー乗降ができないか
- 市営バス（緑ヶ丘）までの接続を充実してほしい（時刻、便数等）
- 路線バスの様に、スーパーなど目的地をバスに表示してはどうか(例：○○行き)
- スパランドららら1つの拠点としているが、以前そこを出発する便を見たときあまり利用者がいなかったため、そこまでの需要があるか疑問

○イメージ・認知度
- あいばすを広報するインフルエンサーのような人を設定できないか。
- あいばす導入時に試乗会がなかった（今からでもやっていいのではないか）
  →知らないものは他人にも勧められない
- 中心地からあいばすを使ったローカル旅を撮影し、広報できないか
- 少数の固定利用者（あいばす利用者）よりも、今後免許返納をするような多数の高齢者のニーズに合わせるべきでは
- 初めて利用する人はハードルが高い（ルート等分かりにくい部分が多く不安）
- あいばす利用者にとって何かメリットがないと、利用者は増えないのでは
- 利用者が少ないとあいばすの継続も難しいのではないか
- あいばすの認知度がかなり低いが、時刻表を見ると意外と使えそう
- あいばすの時刻表をもっと配ってもいいのでは

座談会テーマ

移動実態を踏まえたニーズ・改善点

B班

グループでの意見

移動ニーズ・困りごと

○困りごと
- 飲み会帰りの夜の便がない
- 路線バスの減便により、地域の高校生が通学に利用できる時刻のバスがなく、保護者が送迎している

○ニーズ
- イベント時にあいばすを利用
- あいばすを飲み会の際に利用している（行きだけあいばす利用）
- あいばすを買い物の際に利用している
- あいばすをスパランドららで開催される忘年会の際に利用している

○その他、地域の現状
- 自家用車や誰かの車に乗り合わせてグラウンドゴルフへ行く（夏場は8時、冬は9時スタートであり、丁度いい時刻のあいばすがいると助かる）
- あいばすを通院利用している方もいるが、送迎をしてくれる病院もあり、そこを利用する人もいる
- 買い物は伊敷のエリア内が多い
- あいばすを路線バスとの乗り換えで1回だけ利用した
- 地域の輸送資源（社会福祉法人の車両や運転者）を利用できないか
- 地域の方々での助け合い（車の乗り合わせ等）がある
- 温泉（みどり温泉、たぬき湯、スパランドらら等）に行く人は多い
- 買い物は吉野方面に行く人も多い（吉野方面に行くバスがあってもいい）

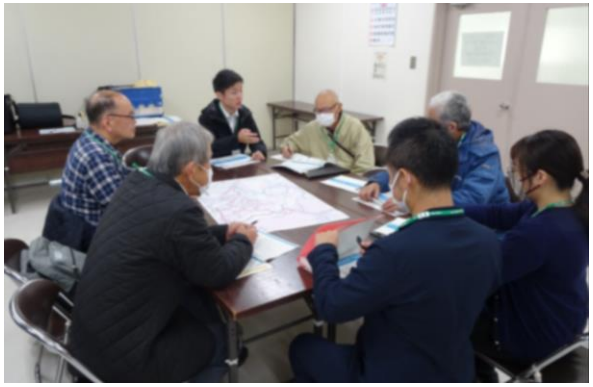
あいばすの改善点

○乗車
- 買い物の際の行きと帰りの便の時間差が短い
- 買い物に行って帰るまでのインターバルは、高齢者の場合60分程度は必要

○停車地・バス停
- 路線バスへの乗り継ぎを分かりやすくしてほしい

○イメージ・認知度
- あいばすは高齢者専用というイメージがある
- あいばすを利用した際に特典があればもっと利用する
- あいばすはあまり使われていない印象がある
- ルートが入り組んでいる印象がある
- たまに走っているあいばすを見るが、利用者が少なくもったいなく感じる

当日の様子



座談会テーマ

移動実態を踏まえたニーズ・改善点

A班

グループでの意見

移動ニーズ・困りごと

○困りごと
- JR九州のバスはステップが低いが、鹿児島交通のバスのステップは高い（高いと高齢者は利用できない）
- シニアカーを利用する方がいるが、坂道や交通量が多い所を走るのは怖い
- 待機するタクシーが無く、タクシーを呼んでから来るまでに20～30分かかる
- 住民同士で助け合い（車に乗り合わせての買い物等）ができる体制が必要

○ニーズ
- 高齢な方の移動の目的は、買い物と通院
- たまにバス停で待ってる人を見るが、その人はあいばすがないと困ると思う（90歳くらい）
- 通院は中央駅方面が多く、あいばすで国道3号線まで出てそこから路線バスに乗り継ぐため、早朝に移動したい人は多い

○その他、地域の現状
- 高齢者の移動は子どもや近所の人に頼っている部分が大きい
- 家族送迎により日置のニシムタへ買い物に行く人が一定数いる
- デイサービスの往復送迎や通勤で15～17時頃の交通量が多い
- パールランド病院は職員の送迎用のバスもある
- 伊敷までタクシーで行き、路線バスに乗り継いで中央方面へ通院している
- 犬迫始発便は栗之迫中付近にある母子寮（第2千草寮）から通学をする子どもたちが利用している

あいばすの改善点

○乗車
- あいばすをフリー乗降できるようにできないか
- 買い物は30分～60分程度時間が必要（買い物時間に合わせて復路便が欲しい）
- あいばすは移動困難者には欠かせないため、これから利用が増えるはず
- あいばすを見ているとほとんど乗っていないように感じるため予約型乗り合いの方が適しているのではないか
- 社会福祉法人との協働は図れないか（昼間開いている車両や運転者を活用できないか）

○停車地・バス停
- あいばすの利用者はほとんどが高齢者だが、自宅からバス停までが遠く、そこまで行くのが大変
- 通学利用、松元タイヨーへの移動の利用がある

○イメージ・認知度
- あいばすは高齢者の利用が多い

当日の様子

座談会テーマ

移動実態を踏まえたニーズ・改善点

A班

グループでの意見

当日の様子

移動ニーズ・困りごと

○困りごと
- 乗合タクシーは予約が簡単にできるのかどうか不安（予約が利用のハードルを高くしそう）

○ニーズ
- あいばすのバス停が遠いところや利用者が少ないところなど、乗合タクシーのほうが便利なところがある

○その他、地域の現状
- 大浦には2～3人のあいばす利用者がいる
- 岩戸には3人あいばす利用者がいる
- あいばす早朝便で以前はお墓に行っていた
- あいばすがＡコープの敷地内に入るのがありがたい

あいばすの改善点

○乗車
- あいばすは待ち時間長い
- 買い物と病院の両方に行けると良い
- 通院利用のための朝の便がなく、帰りが夕方になってしまう
- あいばす車両を小型化してはどうか
- 今より朝早い時間から夕方前までの運行としてほしい
  （運行時間帯を前倒してほしい）

○停車地・バス停
- 路線バスへの乗継に40分ほど待機時間があり、待つのが大変

○イメージ・認知度
- あいばすの朝早くの便があれば運賃300円でも乗る
- 行きたい時間や行きたい場所に使える自由度の高い乗り物があるとありがたい

座談会テーマ

移動実態を踏まえたニーズ・改善点

B班

グループでの意見

移動ニーズ・困りごと

○困りごと
- 病院受診ができる時間のバスがない（午前中あいばすで病院に行っても、帰りが昼前の便に乗れず夕方の便になる等）

○ニーズ
- あいばすを温泉や買い物に利用している

○その他、地域の現状
- 自家用車等がない人にとってあいばすは命綱 である（ないと生活が立ち行かない）

あいばすの改善点

○乗車
- デマンド交通を山間部で展開してほしい
- 市内に行くバスへの乗り継ぎができない（接続が悪い）

当日の様子

座談会テーマ

移動実態を踏まえたニーズ・改善点

C班

グループでの意見

移動ニーズ・困りごと

○困りごと
- 子どもが市街地に路線バスで遊びに行くと、帰りの便が無くて車で迎えに行く必要がある
- 高齢者の事故等もあり免許の返納を勧められるが、この状況（交通が不便な状況）では返せない

○ニーズ
- あいばすは定時定路線のままが良い

○その他、地域の現状
- タクシーの予約が手間 である
- 自宅から車でJR九州バスの乗り場まで行って、そこからバスで通院 している
- もう少し高齢になり、免許返納した後の移動手段が心配
- 郡山にタクシー会社がなく、伊敷からタクシーが来るため時間がかかる
- あいばすの存在は非常に助かっている
- 郡山地域に住む方の買い物はＡコープが圧倒的に多い

あいばすの改善点

○乗車
- あいばすは遠回りをするから時間がかかる
- 大英団地について、あいばすを子ども達が通学で使えたら良いのではと思う（時間が合わない）→反対に、帰りの時間はあいばすとJRバスが重複しているため、バス会社とも調整をしてなるべく無駄を減らしてほしい
- Aコープで買い物をした後、帰りの便が1時間くらい待つ

○イメージ・認知度
- あいばすはとにかく便が少ない
- 運行前と運行終了後の池田鼻と岳の車庫の間の回送がもったいない→バス停の位置やダイヤを上手く設定して無人で走る回送の時間を極力減らせないか

座談会テーマ

移動実態を踏まえたニーズ・改善点

D班

グループでの意見

移動ニーズ・困りごと

○困りごと
- あいばすはバス停まで遠いが、歩いて行かざるを得ない
- 車に乗らなくなった時（免許返納した後）の移動手段が心配
- 免許返納したため日常の移動が不便になった
- タクシーを呼んでもすぐには来ないため時間がかかる（伊敷方面からタクシーが来る）
- 免許返納後、バスがなくなると移動ができなくなり困る
- 娘に通院等送迎してもらっているが、頼ってばかりではいられない

○ニーズ
- 病院受診できる時間のバスがない（帰りの便がない等）

○その他、地域の現状
- あいばすの便数・運行日数が減ったらそれに合わせて生活する
- 生活圏は郡山支所周辺

当日の様子

あいばすの改善点

○乗車
- 夕方は早く帰るので、朝の便を早くしてほしい（運行時間を前倒してほしい）
- 到着から出発までが短い
- 昨年度まであった第1便がなくなったのが不便
- 朝早く出発し、昼前に帰る便が欲しい
- 月・水・金ルートについて、8時台の便があれば助かる
- 朝あいばすで病院に行くと滞在時間が長いため帰りが昼前の便で乗れず、夕方の便になる（帰りはタクシーを利用することがある）
- あいばす利用は今のところないが、なくなると将来的に移動できなくなってしまうので困る
- あいばすを山間部に住んでいる人々を拾う路線にしてほしい
- あいばすは路線バスがないところを走ってほしい

○停車地・バス停
- バス停同士の間隔を狭くしてほしい
- 池田鼻まで行かず、Aコープが終点でよいのでは
- 出発地が街中（池田鼻）ではなく、山間部からスタートしてはどうか

座談会テーマ

移動実態を踏まえたニーズ・改善点

A班

グループでの意見

移動ニーズ・困りごと

○困りごと
- 午前中はタクシーを呼んでも、出払っていて断られる時がある

○ニーズ
- 中央から松元まで行くバスがあった方が沿線に住む人が増えるのでは
- 米盛病院・伊集院方面へも行きたい
- 石谷も路線バスが減便となり、中央駅方面に向けての足が減ってしまい（朝2便、夕3便）となり、使い勝手が悪くなった

○その他、地域の現状
- 車を所有しているが、普段から一人でどこかへ行く時は、路線バスを使うようにしている
- バス会社頼みではなく、地域のみんなで地域交通を支えることも大切だと考える
- 乗合タクシーを知っているが乗ったことはない
- あいばすは直木公民館で乗り換えが必要
- あいばすは、バス停が遠く便も少ない、また行きたいところに行けないので、一度利用したきり乗っていない
- 今まであいばすに乗っていた人が今はデイケアを利用するようになり、乗らなくなった
- 高齢者の事故等が問題となっているが、公共交通がなければ免許返納は進まないと思う

当日の様子

あいばすの改善点

○乗車
- 温泉に行くのに使いたいが、運行間隔が長く、利用に至らない
- 買い物に使いたいが、次の便まで80分は空きすぎと感じる
- 路線を短く分割して、運行を曜日ごとで分けることはできないのか
- ルートを細かくして、運行本数を増やしてほしい
- 免許返納後あいばすを利用しているが乗車時間が長いため、より早く目的地に行けるようにしてほしい

○停車地・バス停
- 自宅からあいばすのバス停が遠く、便が少ない
- バス停が長時間待てる環境になっていない所もある（ベンチがない等）
- 乗継拠点施設は待合スペースが6畳サイズでもあれば助かる
- ベンチ・屋根付きの待ち合いスペースがほしい

○イメージ・認知度
- 一人も乗っていないあいばすを見かけることも多い
- 周知広報を兼ねて、あいばすを絡めたイベントをやってみてはどうか
- あいばすポイントラリーを知らなかった
- 運転できなくなったときにあいばすの利用ができるか不安
- あいばすに一人しか乗っていないのを見て、「利用しなければ」とは思う
- あいばすの路線沿線をイベント等で盛り上げて、利用を促進すべき

座談会テーマ

移動実態を踏まえたニーズ・改善点

B班

グループでの意見

移動ニーズ・困りごと

○困りごと
- 自治会離れがある

○ニーズ
- Aコープに買い物に行きたい

○その他、地域の現状
- 日置市は地域主体でコミュニティ交通を運行している
- 鹿児島交通、南国交通の中学生のスクールバスがある
- 別の交通機関との乗換に10～15分くらいは待てる
- あいばすのダイヤに合わせて買い物している
- 上伊集院駅は学生の送迎と思われる車がよく停まっているため、あいばすの時刻をうまく設定できれば利用してもらえるのではないか

あいばすの改善点

○乗車
- 夕方の小学生の下校に合わせたバスの運行はできないか
- 乗合タクシーに切替えるべきではないか
- あいばすのルートは右回り、左回りが分かりにくいため、分かりやすくしてもらいたい
- 乗車がない地区はあいばすをやめて、デマンド型や地域の助け合いで対応すべき
- あいばすは便数が少ない
- ルートが長く、遠回りをする

○停車地・バス停
- 目的地を選別して、ルートを短くしてほしい
- 松元駅や上伊集院駅のJRとの接続を良くしてもらいたい
- 春山からAコープや上伊集院駅に行きたい
- JR路線南側は平野岡（温泉）くらいしか利用されていない

○イメージ・認知度
- あいばすの利用イベント（史跡めぐり）など開催できないか

当日の様子

座談会テーマ

移動実態を踏まえたニーズ・改善点

C班

グループでの意見

移動ニーズ・困りごと

○困りごと
- あいばすは、支所や駅など主要なところへ行くのに乗り換えが必要なのは大変
- 交通手段を確保できないと地域の過疎化が進む
- 入佐地区は、不便な地域だがそれでもあいばすは使いにくい→乗合タクシーのほうが有効かもしれない
- 現在のあいばすの状況では、免許返納もしにくい

○ニーズ
- 整形外科は伊集院方面に行く人が多い
- 通学で利用できればというニーズはある
- 東昌小学校区に住む子どもたちは、中学校まで距離が遠く、自転車で通っている→通学や下校時間に丁度いいあいばすがいれば利用する人は多いはず

○その他、地域の現状
- 薩摩松元駅は階段を上らないといけず、高齢者にはきついため、上伊集院駅を利用する人が多い
- あいばすの利用目的は、通勤や通学、買い物や通院が主である→行きと帰りのダイヤを上手く設定してほしい

あいばすの改善点

○乗車
- 社協の企画であいばすの利用体験をしたことがあるが、多くの地域を回りすぎて遠回りをするため、使い勝手が悪い
- あいばすはルートが長く、帰り便との接続が悪い
- 各地域から主要な地点（支所や平野岡）行きを設定してルートを短くしてほしい
- それぞれの便数を減らしてでもニーズのある短い便を設定してほしい
- 最終便は利用がほぼ0人なので他（朝の便等）に割り振ることはできないか
- JRとの接続が悪い（上伊集院駅）
- あいばす車両をハイエース等、小型化してもいいのではないか

○停車地・バス停
- あいばすの発着を松元平野岡体育館ではなく、松元支所にしたら使いやすくなるかもしれない

○イメージ・認知度
- あいばす導入時とは、ニーズや利用状況も変わってきているため、大きな見直しをすべきタイミングなのではないか（運行ダイヤやバス停の配置等）

当日の様子

座談会テーマ

移動実態を踏まえたニーズ・改善点

D班

グループでの意見

移動ニーズ・困りごと

○困りごと
- 路線バスの減便で不便になってしまった

○ニーズ
- 通院・買い物で伊集院方面に行く人も多い
- 温泉利用であいばすを使っており、生活に欠くことが出来ない
- 定時定路線の方が予定が立てやすい
- 春山や松元のタイヨーやAコープで買い物をする
- 上伊集院駅でJRに乗り継いで中央駅に行くのが便利

○その他、地域の現状
- 食料品等の調達は、生協の宅配を利用してる人が多い
- 兄弟や子どもに買い物を手伝ってもらっている人もいる
- あいばすの乗車時間が長く不便なため、定期的にタクシーも利用している
- 車で移動するなら、伊集院方面は行きやすい

あいばすの改善点

○乗車
- あいばすの乗り方がよくわからない
- あいばすはルートが長く遠回りをするため、使おうという気持ちにならない
- あいばすを使いやすい人が限られている
- 10分から20分で目的地に行けるようにしてもらいたい
- デマンド型について、電話予約はそこまで抵抗はないが、端末等の操作が必要になってくると利用のハードルが高く感じる

○停車地・バス停
- 自宅からバス停が遠く、道中に坂もあるため使いにくい

○イメージ・認知度
- 平野岡の温泉やあいばすは交流の場になっている

当日の様子